

学士課程教育に係る全学ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

▼目指す人材像

岩手県立大学の学士課程では、幅広い教養と国際感覚を備え、知識を柔軟かつ創造的に活用して主体的に行動できる人間を育成します。県立大学の強みを生かし、地域と連携した実践的教育を通して、産業経済、福祉医療、地域政策等の分野において専門知識を活用して課題解決に取り組み、豊かで活力ある社会の形成に貢献できる人材を輩出することを目指します。

▼共通の柱

- 柱1：幅広い教養
- 柱2：専門知識
- 柱3：社会への関心
- 柱4：コミュニケーション能力
- 柱5：課題発見・解決能力

学士課程教育に係る全学カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

岩手県立大学の学士課程教育では、卒業認定・学位授与の方針に掲げた共通の柱及び学部ごとに設定する能力の育成のため、基盤教育科目と専門教育科目を中心としたカリキュラムを編成・実施し、学生が主体的・能動的に学ぶことができるよう、講義、演習、実習等を適切に組み合わせた授業を開講します。

基盤教育科目は、本学での学習活動や社会生活において不可欠な知識・技能や、幅広く豊かな教養に基づく総合的な判断力を育成することを目的とし、以下のような科目群を開講します。

- CP1：本学での学習活動において不可欠な知識・技能を育成するため、基盤教育科目に「基礎科目」を開講します。（幅広い教養、専門知識）
- CP2：知の継承・構築・実践を通して絶えず思考するため、基盤教育科目に「教養科目」を開講します。（幅広い教養、社会への関心、課題発見・解決能力）
- CP3：自己及び他者の心身の健康や、健康的な生活・生き方について総合的に考えるため「保健体育」を開講します。（幅広い教養、コミュニケーション能力）
- CP4：グローバル化時代に必要な広い視野、異なる背景のさまざまな人たちと同じ空間で生きていく能力を育成するため、「外国語科目」を開講します。（幅広い教養、社会への関心、コミュニケーション能力）

専門教育科目は、基盤教育科目を土台とし、また、その内容と連携を取りながら、各学部において「専門教育科目」を開講します。